



## 令和4年度前期学校評価結果をお知らせします

保護者の皆様のご協力を得て、前期学校評価アンケートを実施いたしました。今年度から、「Microsoft Forms」によるアンケートで集計させていただいたのですが、保護者の皆様には、お忙しい中ご理解・ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。なお、評価項目は、「確かな学力(学習面)」「豊かな心」「健やかな体(健康・運動・安全面)」「その他(教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子)」の4観点に基づき、各項目は「実現度(よくできている・だいたいできている・あまりできていない・できていない・わからない)」の5段階でお答えいただきました。

集計結果から、実現度の状況を分析し、成果や課題をご報告いたします。



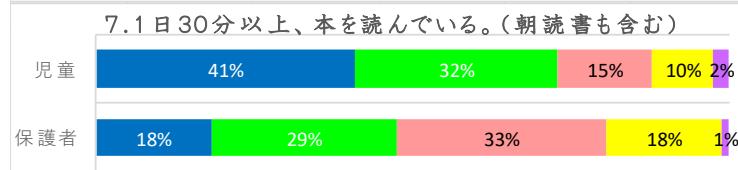
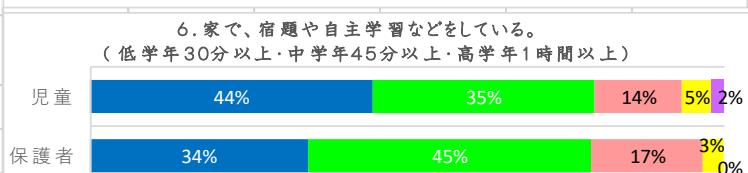
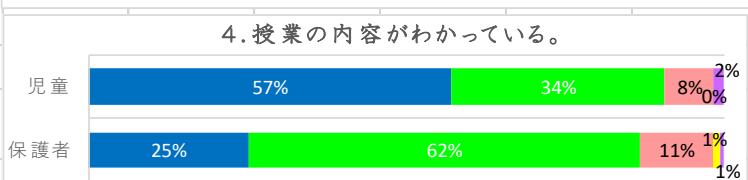
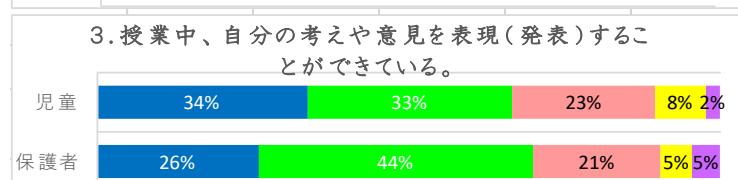
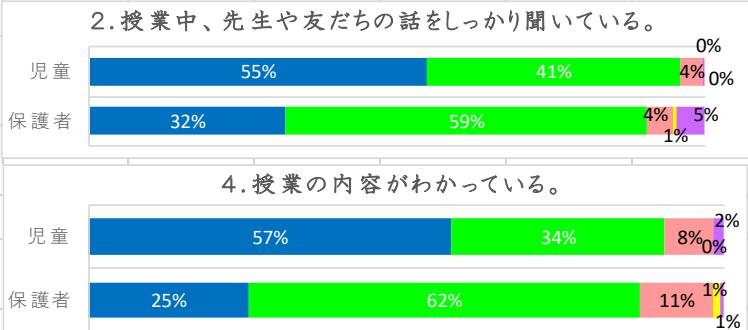
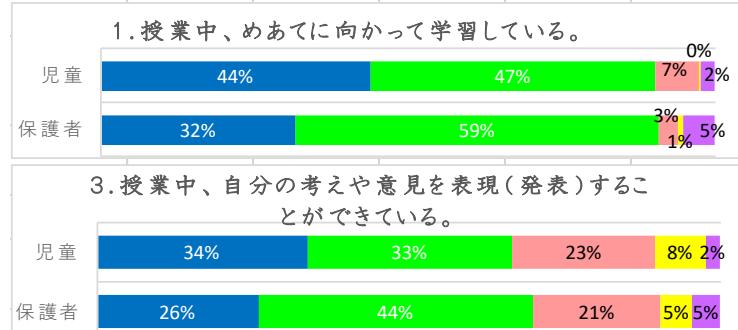
### ＜回答数について＞

・263名の方から回答をいただきました。実施期間の児童数が329名(家庭数257)でしたので、約80%の方のご意見をいただいたことになります。

### 確かな学力(学習面)



よくできている・大体できている ⇒ プラス評価  
あまりできていない・できていない ⇒ マイナス評価  
※上記のように捉えて考察・分析しています。  
※小数点以下を四捨五入している数値です。



次ページに続きます→

### 全ての児童に定着させたい、「きく力と表現力と学習習慣と」・・・

設問1「授業中、めあてに向かって学習している。」と設問2「授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いて学習している。」は、児童・保護者共にプラス評価が90%以上の割合でした。しかし、設問3「授業中、自分の考えや意見を表現(発表)することができている。」は、児童が約67%、保護者が約70%という低い割合が見られました。学校では、様々な教科の学習で、「めあて(学習問題)」を提示し、自分で考えたことをグループで交流して聞き合ったり、みんなで話し合ったりして、その課題解決に向けて学習を進めようとしています。今回の結果からは、日ごろの授業の成果の一端が見られたと考えられますが、一方で、自分の思いや考えを「表現(発表)すること」については、課題が見られることがあります。日々の授業でも、「めあてをもって学習し、話をしっかり聞く児童」は多く見られますが、自分から進んで「自分の思いや意見を発表できる児童」は、少ない傾向が見られます。「間違えても、失敗しても大丈夫。話しやすい、受け入れられやすい学習環境づくり」に努め、今後も一人一人の児童が、自分の思いや意見を素直に表現できるような取組を工夫し、継続していきます。

設問4「授業の内容がわかっている。」は、児童が約91%、保護者が約87%でした。また、設問6「家で、宿題や自主学習などをしている。」は、児童・保護者共にプラス評価が約79%の割合でした。この結果から、「授業の内容がわかっていない。」という児童が約1割、「家庭学習をきちんとできていない。」という児童が約2割いることは看過できません。「基礎・基本の力」は、授業での学習の積み重ねはもちろんのこと、家庭学習で繰り返し学習することのどちらもが大切で、学校とご家庭で連携して取り組んでいくことが、基礎的な学力の定着につながります。今後も、学校では

### 「毎日の課題を確実にやり遂げ、家庭学習の習慣が確実に身に付いているか」

### 「授業の中だけで分かったつもりになっている学習内容はないか」

などの点をチェックし、ご家庭との連携を深めながら、学習習慣の指導のさらなる改善を行っていきます。本校では、日々から多くの保護者の方が、ご家庭で毎日の宿題を丁寧にみていただき、アドバイスや励ましの声かけをしていただいている。今後も引き続きよろしくお願ひいたします。

(※以下に「家庭学習の大切さ」について書かれた文を抜粋しています。ぜひご家庭でも子どもたちとお話しください。)

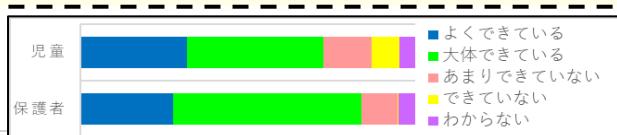
### 「家庭学習の大切さ」とは・・・? ~京都市教育委員会「自学自習のすすめ」より抜粋~

家の学習で大切なのは、毎日、少しでもいいので、読んだり、書いたりしてみることです。それが、どうして大切なのでしょうか? 大きな理由が2つあります。

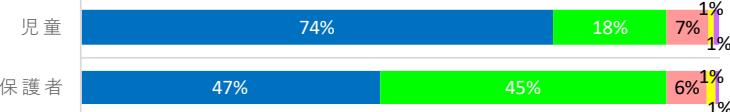
1つは、基本的な力 (たとえば、漢字の読み書きや足し算・引き算) は、繰り返し学習しないと「身につかない」。そして、「身につけて」しまわないと、先に進めないからです。基本的な力は、「毎日繰り返す」ことで、いつのまにか「身について」くるのです。

もう1つは、毎日、少しでも勉強することで、それが「普通のこと」になること、家の学習が、「習慣」になるということです。自分で勉強するという習慣は、「計画を立てたり」、「見通しを持って行動したり」、などのとても大切な力をつけることにつながります。この力は、自分の時間や行動を自分で決めていく力であり、社会でたくましく生きていくための基礎となる力です。

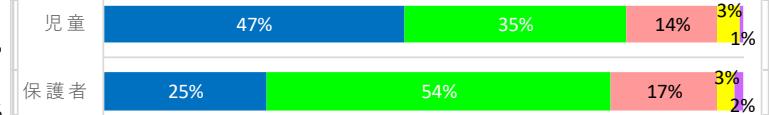
## 豊かな心



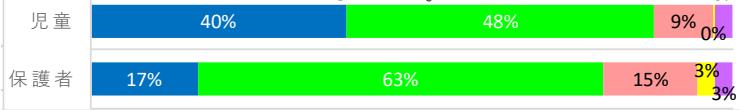
### 8. 学校で楽しく過ごしている。



### 9. 自分からあいさつをしている。



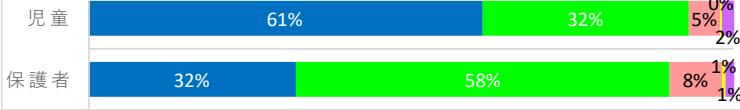
### 10. そのときふさわしいか考えて、正しい言葉づかいをしている。



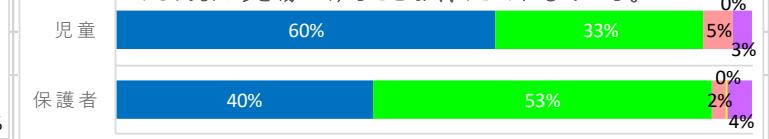
### 11. 学校や家のきまり、約束、マナーを守っている。



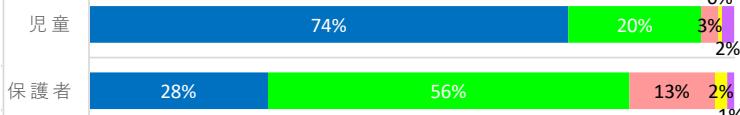
### 12. 当番活動(給食や掃除、委員会)など、人のために役立つことをしている。



### 13. 友だちを傷つけることなく、大切にしている。



### 14. 自分の物も人の物も大切にしている。



## 挨拶とは・・・「互いの心を開いて、相手の心に近づいていく」こと

設問8「学校で楽しく過ごしている。」、設問11「学校や家のきまり、約束、マナーを守っている。」、設問12「当番活動など、人のために役立つことをしている。」、設問13「友だちを傷つけることなく、大切にしている。」は、児童・保護者共にプラス評価が90%以上の割合でした。学校では、道徳科を研究教科とし、「善悪の判断・自律・自由と責任」「親切・思いやり」に関する内容に重点を置いて、道徳科の授業をはじめ、教育活動を行っています。今回の結果からは、子どもたちが授業で考えたことを活かし、よりよい学校生活を送るよう正在していきました。今後も、「自分勝手に過ごすのではなく、みんなのことを考えて行動したり、友だちに優しく親切にしたりできること」を大切に取り組んでいきます。

次ページに続きます→

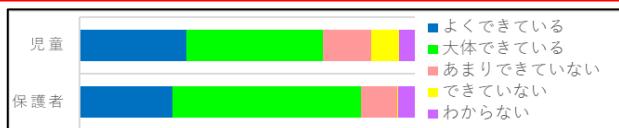
設問9「自分からあいさつしている。」は、児童が82%、保護者が79%という低い割合が見られました。校内でのあいさつの様子を見ていると、「自分からあいさつする子・あいさつされたらあいさつできる子・あいさつする声が小さくて相手に伝わっていない子・あいさつされてもあいさつをできない子」と、さまざまです。また、登下校の様子を見守っていただいている地域の方からも、同様のお声をいただいています。

「挨拶」の語源を調べると、もともとは禅宗で問答を交わして相手の悟りの深浅を試すことを「一挨拶」といい、その言葉に由来するそうです。そして、「挨」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」には「迫る」「擦り寄る」といった意味があることから、『『挨拶』は、互いの心を開いて、相手の心に近づいていく。』つまり、「わたしはあなたに心を開くよ。」という意味があります。

さて、そう考えると、「挨拶するのは当然。将来、社会人になったときに挨拶できないのは恥ずかしい。常識だからとりあえず挨拶すればいい。」という意識だけでは、少しもったいない気がします。上記の意味から考えると、「挨拶は、人と人とのコミュニケーションするときに、相手が今どのような状態であるか？」ということを知るためのとても大切なものです。人の心や気分は毎日少しずつ違います。例えば、朝気分よく迎える人もいれば、そうでない人もいる。だから、目の前の相手と一緒に勉強をする・仕事をする・生活をする・一時でも同じ空間にいるのであれば、せっかく過ごす同じ時間や同じ空間をより良くしていきたい。そこで大切なのが、そのコミュニケーションの入口であるあいさつのです。

学校においても、家庭においても、社会においても人ととのコミュニケーションはなくてはならないものです。学校では、長期休業明けに「あいさつ運動」を行ったり、各学年で「あいさつ」の指導を継続的に行ったりしていますが、今後も「それぞれの場面に合わせて、適切なあいさつができるることは、とても大切なこと」という意識を教職員がもち、さらなる取組の工夫をしていきます。

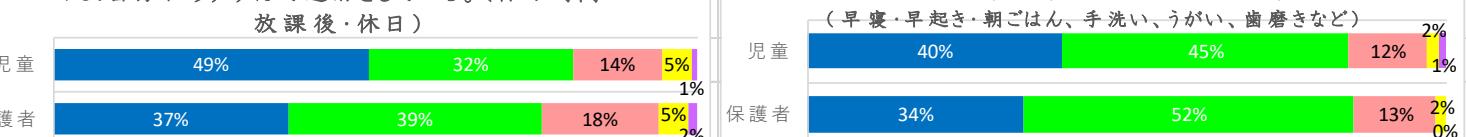
## 健やかな体（健康・運動・安全面）



### 15.自分からすすんで運動をしている。（休み時間・放課後・休日）



### 16.生活習慣に気をつけて生活をしている。



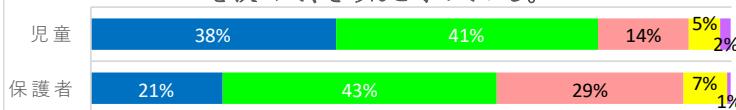
### 17.好き嫌いをせずにきちんと食べている。



### 18.登下校の時や、放課後に道路を歩くときは、交通ルールを守っている。



### 19.動画やテレビをみたり、ゲームなどをしたりする時間を決めて、きちんと守っている。



## 必要なときに自分で判断して使用できる力を・・・

設問18「登下校の時や、放課後に道路を歩くときは、交通ルールを守っている。」は、児童・保護者共にプラス評価が、95%以上の割合で、交通ルールに対する意識の高さが見られました。しかし、約4%の児童は「あまりできていない、できていない」と答えています。また、朝や放課後に見守り活動をしてくださっている方からは、「車が走る道路を横断歩道以外で渡っている。松原通りの信号の変わり目に、急いで渡ろうとするため危険だ…。」というお話を聞きます。今後も、毎月15日に行っている「安全の日」を中心に、安全指導を継続していきます。

設問19「動画やテレビをみたり、ゲームなどをしたりする時間を決めて、きちんと守っている。」は、児童・保護者共にプラス評価が80%を下回り、特に保護者64%は今回の学校アンケートの中で一番低い割合が見られました。学校での児童の会話からも、ゲームや動画視聴、SNSの話は聞かれますし、「家で動画視聴やゲームをやり出したらなかなか終わらずに困っている。宿題よりも動画視聴やSNSが優先になっている。」という保護者の方のお声も聞きます。学校では、1人1台のGIGA端末導入に伴い、『情報モラル』の指導を増やしていますので、ご家庭とも連携を取りながら、児童自身が「必要なときに自分で判断して使用できる力」をつけられるよう、共に取組を進めていきますようお願いいたします。

以下に、ゲームや動画視聴、SNS等の約束事を考える際のポイントを紹介します。参考にしてください。



1. 使用時間や方法についてのルールや約束事を、子どもと一緒に決める。

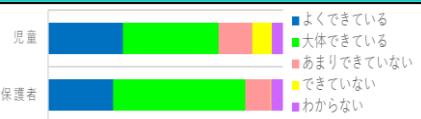
2. 1のときに次のような約束事を入れる。

・「相手が傷つくようなことはしない。」

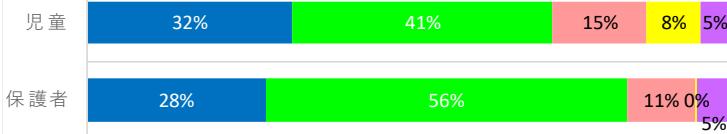
・「約束が守れなかったときは、使用できなくなる。取り上げる。」

・「(履歴等の) 中身をみることがある。」

## その他（教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子）



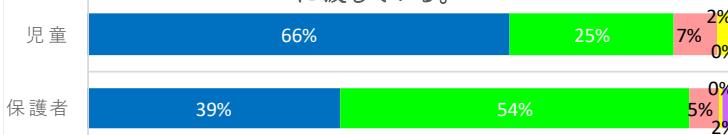
20. 困ったときなど、学校の先生に質問や相談をしている。



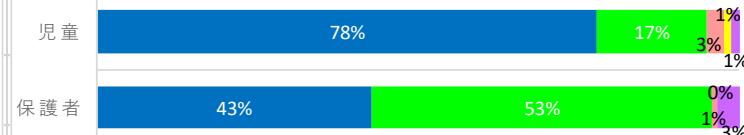
21. おうちの人と、学校のできごとを話している。



22. 学校からのお便りやプリントを、きちんとお家の人へ渡している。



23. 担任の先生や他の教職員の方たちは、感染症が広がらないよう安心して過ごせるように、気をつけてくれている。



### 困ったときに相談できるように・・・

設問20「困ったときなど、学校の先生に質問や相談をしている。(保) 困ったときなど、教職員に質問や相談をしやすい。」は、児童が73%、保護者が84%と低い割合でした。学校では、学期の途中に「教育相談」として、一人一人の児童と「個別相談会」を行っています。今後も、期間を設定して「個別に相談できる機会」は保障しながら、日々の生活の中で気に掛かることを教職員一丸となって連携し、教育活動を推進していきます。保護者の皆様も、何かご相談されたいことがありましたら、今後もご連絡をよろしくお願ひいたします。

### 自由記述のご意見

※マスク着用（コロナ感染予防対策）については、学校だより10月号で取り上げた通りです。

今回の学校評価アンケートでいただいたご意見の一部を紹介させていただきます。いただいた全てのご意見は、教職員で共有し、今後につなげていきます。今後も何かご不明点がありましたら、いつでも学校までご連絡ください。

・学校イベント（授業参観や懇談会、学校行事）について…

→お知らせが遅いときがあるとのご指摘をいただきました。計画的にお知らせが配付できるように今後も努力します。またご不明点があれば、いつでもご連絡ください。

・学校評価アンケートの形式について…

→今年度より、記名をお願いしてご意見を伺っています。記名していただくことで、詳しくお聞かせいただきたいご意見については、直接お話を伺えると考えます。今後も忌憚のないご意見をお願いいたします。また、アンケート項目には、学校での子どもたちの様子も伺っていますが、授業参観時の様子からご回答いただけたと嬉しいです。お忙しくて参観できない方もおられると思いますので、その際は、子どもに聞いていただか、「わからない」という回答欄をご活用ください。

・ホームページや学校だよりについて…

→ホームページのアップに学年の偏りが見られることをご指摘いただきました。2学期以降、努力いたします。また、ホームページに【給食の様子】を載せていることや、【学校だよりを楽しく拝見している】と、肯定的なご意見もいただきました。今後も、ホームページや学校だより、クラスの予定表等を通して、学校の様子をお伝えしていきます。ぜひご覧ください。

・健康・運動・安全面について…

→健康面では、【コロナ対策】や、【朝の遅刻・欠席の連絡方法】などについてご意見をいただきました。コロナ対策は、今後も適切に進めていき、変容がありましたら保護者の皆様にお知らせしていきます。朝の連絡は、2学期以降、「遅刻・欠席連絡フォーム」を整備しましたので、今後もぜひご活用ください。運動面では、「もっと外で遊んだり体を動かしたりしてほしい…」というご意見をいただき、学校でも課題の1つと捉えています。これから寒くなり工夫した取組を考えていきます。安全面では、【見守り指導】について肯定的な意見をいただきました。今後も、子どもたちの安心・安全を考え、取組を推進していきます。